

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成26年 5月30日
中国運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
井笠・福山圏域バス 路線連携協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・全便(27系統)のOD調査によって、通常の交通動態における利用状況を把握した。 ・バスの必要性や満足度調査等によって、バス利用者の増加が期待できる施策について分析した。 ・調査対象路線の特性と課題について分析し、見直し方針案について検討した。 ・住民等に対するモビリティマネジメントや待合環境の充実、利便性の向上及びバリアフリー化の推進など、今後の利用促進策について検討を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・関係自治体(笠岡市, 井原市, 浅口市, 倉敷市, 里庄町, 矢掛町, 福山市)において、状況に応じて、地域間幹線系統確保維持事業及び地域内フィーダー系統確保維持事業、協働推進事業の活用を検討するとともに、平成27年度以降の生活交通ネットワーク計画の策定に資するものとなるよう、連携協議会において十分な調整を行う。 	<p>再編・整理された広域的なバス路線において、長期的・安定的な路線維持に努めながら、地域住民の公共交通手段を確保するため、乗降調査、アンケート・ヒアリング調査、維持確保計画案の作成が実施されていることが評価できる。</p> <p>調査結果に基づき、地域間幹線系統確保維持事業、地域内フィーダー系統確保維持事業、協働推進事業の活用を検討、平成27年度以降の生活交通ネットワーク計画の策定に資するものとなるよう期待する。</p>	
新見市地域公共交通 会議	<p>[地域公共交通の現状把握のための路線バス全便の利用実態調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の少ない路線の把握を行い、効率的な運行に向けた検討を行った。 <p>[公共交通に関する意識調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の公共交通に関する意識調査 65歳以上の市民675名に郵送、462名から回答 ・公共交通利用者273名への聞き取り調査 ・医療機関窓口で55名から聞き取り調査 ・公共交通の現状に対する認識や課題を把握 ・高齢者の生活スタイル(外出頻度や外出目的)を把握し、高齢者が真に必要な交通体系についての検討を行った。 	A	<p>[地域公共交通全体の見直し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査事業によって得られた基礎資料を参考に、公共交通全体の見直し作業を進める。(見直しの方向) ・低利用便の減便および車両の小型化 ・定路線型運行からエリア型運行への移行(既存路線の変更および新規路線の開設) ・平成27年度に策定予定の「新見市地域公共交通総合連携計画(仮称)」への反映 ・地域公共交通確保維持改善事業の活用を検討 	<p>市内の交通空白地域において、持続可能な地域公共交通を確保するため、利用実態調査、意識調査、公共交通見直し案の作成が実施されていることが評価できる。</p> <p>調査結果に基づき、地域公共交通全体の見直しが図られ、生活交通ネットワーク計画が策定されることを期待する。</p>	
府中市地域公共交通 活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・主な施設、人口の分布、現在の公共交通網を地図に落としとして調査し、交通空白地域の洗い出しを行った。 ・人口密度や実施難易度を考慮しながら効果の大きい地区からの交通空白地域解消できるよう対応策を検討し、連携計画の事業スケジュールを作成した。 ・交通空白地域解消と、周辺地域から基幹公共交通網への接続による利便性向上を図る府中市地域公共交通総合連携計画の策定ができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、公共交通網がなく高齢化率の高い見晴団地地域に本山線、金丸線の路線を延長し、交通空白地域の解消を図る。(平成27年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定) 	<p>持続可能な地域公共交通を確保するため、現況調査、市民アンケート、ヒアリング調査、「府中市地域公共交通総合連携計画」の改訂が実施されていることが評価できる。</p> <p>調査結果に基づき、生活交通ネットワーク計画が策定されることを期待する。</p>	
岩国市地域公共交通 活性化再生法協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者率、人口減少の推移、主要目的地の分布等を調査し、また、市全体の公共交通の現状及び課題を整理し、持続可能な公共交通サービスを実現するための、今後における、目指す公共交通の役割についての検討を行った。 ・住民、利用者アンケートを実施し、目的限定輸送サービス(福祉バス)の一般乗合化、中山間地域でのデマンドバスの導入、市街地の高台団地等における新たな制度等を検討した。 ・錦川清流線に関しては、鉄道事業再構築事業である上下分離方式も視野に入れた調査を行い、先進事例を調査した上で、収支及び行政負担の試算を行い、今後の方向性についての検討を行った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・無料で目的限定輸送サービスとして運行されている福祉バスの一般乗合化について、調査結果に基づきルート、目的地等の見直しを行う。(平成27年度当初を目標に地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定) ・由宇、周東、美川地域における、定時定路線からデマンド路線への変更について、調査結果に基づき、地域との意見交換を行ったうえで実施する。(平成28年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定) ・周東、錦、美川地域における、定時定路線からデマンド路線への変更について、調査結果に基づき、地域との意見交換を行ったうえで実施する。(平成29年度以降地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定) ・錦川鉄道における安全運行を維持するための、レールの重軌条化、橋梁の改良、落石防止柵の設置等の鉄道設備の整備を実施する。(平成26年度からの鉄道軌道安全輸送設備等整備事業申請予定) 	<p>持続可能な地域公共交通を確保するため、現況調査、現状と課題の整理、住民アンケート・利用者ヒアリング調査、錦川清流線に係る先進事例の調査及び収支見込み、行政負担等の試算、第二次連携計画の作成が実施されていることが評価できる。</p> <p>調査結果に基づき、生活交通ネットワーク計画が策定されることを期待する。</p>	